

はじめに

我々の住む千葉県は美しく豊かな自然環境と多くの都市機能が共存し、国内屈指の国際空港を有することで、農林水産業や商工業、観光業が盛んなバランスの取れた県であります。2020年は東京オリンピック・パラリンピックの8競技が県内で開催され、県内の経済効果は853億円とも言われており、これらを契機に更なる経済発展が見込まれます。一方で、少子高齢化に伴い、生産年齢人口は減少傾向にあり、県内の労働力は低下の一途を辿り、人口の流出やそれらを背景に各地域の経済や産業が衰退し、今や県内の半数の市町村が消滅可能性都市と言われ、2040年までに都市として消滅してしまう可能性が高いと言われています。

2020年代はIT技術が加速度的に進化し、生活環境は劇的に変化していきます。「生き残ることのできる生物の種族は最も優れた生態能力を持った種族ではなく環境の変化に対応できる種族である」という言葉があるように、経験と見識と想像の調和をもとに変化に対応しなければ時代に取り残されてしまいます。

JCは創設以来、明るい豊かな社会づくりを目指し、いつの時代においても地域のオピニオンリーダーとして、英知と勇気と情熱をもって市民を牽引してきました。これから更なる経済発展が見込まれる好機が訪れる一方で、約半数の市町村が消滅する可能性があるこの千葉県内において、我々は激的に変化する社会情勢、地域情勢の時代の流れを的確に捉え、迅速に対応することで、また、千葉県内の各地域の歴史、文化を未来につなげていくことで、市民が地域を愛することとなり、各地域が生きがいを持って、そこに住み暮らす人々の笑顔溢れる持続可能な地域として県内に存在し続けるために、自主自立の精神を展開する必要があります。そして、我々が地域のオピニオンリーダーとして自主自立した地域の先頭に立ち続け、同志との強固なつながりのもと千葉県を有機的につなげ、各地域が有するポテンシャルや特色を最大限に発揮できるよう、調和し共助することで、時代の変化に的確に対応できる強靱な千葉を創造してまいります。

「オピニオンリーダーの創出について」

JCは青年経済人にとって最も成長の機会を提供できる場所です。それは仲間との絆を深め、自己研鑽を繰り返す我々の活動において、己自身の資質そして能力は飛躍的に発展を遂げることができるからであります。そして、我々はその成長過程において、「課題を解決に導く英知」と「困難にも挑戦する勇気」と「誰をも巻き込む情熱」を兼ね備えることができ、日々着実に、地域社会と地域経済を強く牽引するオピニオンリーダーとして成長することができます。

まずは、メンバーが今後、地域のオピニオンリーダーとして光り輝くための資質を向上させるリーダーシップアカデミーを実施します。そして、入会年数が浅いメンバーでも、自身の経験とJC運動に必要な見識、JCの精神を掛け合わせることで、即戦力としてLOMで活躍できるJAYCEEとしての資質向上事業を展開します。また、地域経済の諸問題を的確に捉え、解決に導くことができ、社業の発展に寄与できるよう、時代や地域社会の変化に対応できる的確な経済感覚をもつ青年経済人としての資質を向上させる事業を展開します。さらに、出向という機会は千葉ブロック協議会が提供できるJC活動の中で一番身近なアカデミーであることから、県内各LOMと連携し、出向者の推進と成長に寄与す

る事業を展開します。

JAYCEEとしてより高い次元へと成長したメンバー一人ひとりが青年経済人として地域経済を牽引するオピニオンリーダーとなることで、LOMは更なる発展、成長を遂げます。そして、LOMの発展により、各地域はより活性化し、持続可能な地域へと変貌を遂げます。

「広報について」

JCは創設以来、地域に根付き、課題の解決や魅力を発信する事業、運動を展開しています。昨今、様々な団体がまちづくり事業を展開している中、我々の運動が地域にとって持続的かつ有益であると力強く発信することで、多くの市民の共感を得て運動への参画が可能となります。そして、市民の共感が我々のJC運動が最大限に昇華する近道であり、我々の同志を一人でも多く地域に誕生させる近道であります。

まずは、我々の運動へ一人でも多くの参画を得るために、従来のJCの広報ツールの効果を今一度検証し、事業ごとに使用媒体と内容、対象者をより明確にし、より効果的で的確な広報を実施します。そして、JC運動への情熱をより高い次元へと昇華させるため、また千葉県内の新たな仲間を発掘するために、千葉ブロック協議会と県内各LOMの事業、運動を共有し発信していく広報を展開します。

県内各LOMそして千葉ブロック協議会の運動を内外に発信することで、LOM同士が切磋琢磨し、さらに質の高い事業が展開されます。そして、その好循環化した千葉県内のJC運動を今以上に市民一人ひとりに力強く伝播することで、我々は千葉県内に同じ志をもつ仲間と、多くのアクティブシチズンを創出し、ひいては自主自立した千葉を創造します。

「会員と組織の増強について」

生産年齢人口の減少や少子化を背景に、千葉県の会員数も減少傾向にあります。会員数純増LOMがある一方で、消滅可能性LOMが今後存在し得る可能性がある危機的な状況であります。会員の減少は地域のオピニオンリーダーの減少を意味し、それは各地域の衰退につながります。会員拡大には、入会候補者にJCの魅力を伝えること、入会後の明確なビジョンを伝える、LOMとして、会員拡大を単年度で捉えず長期的なビジョンで考える広い視野が重要となります。また、今後も各地域においてJCが地域の先頭に立ち続けるために、持続可能な柔軟かつ開放的な組織となる必要があります。

まずは、減少傾向にある環境下において、拡大が成功しているLOMの調査、研究をすることで今後消滅可能性LOMが発生しないよう、各LOMの底上げを推進する事業を展開します。そして、本会と連携し、各LOMが持続可能な組織となるよう、組織改革について実施・支援します。さらに、県内各地域にJCが存在し、我々の理念を伝播することが千葉県をより良い地域へと変革するために必要不可欠な要素であることから、JC空白地域の調査、研究、そして新設LOM立ち上げの研究、支援をする事業を展開します。また、新入会員同士の絆を深めることを目的とした2020年度新入会員によるブロック事業を展開し、新鮮な風を起こすことで組織の活性化を図ります。そして、千葉ブロック協議会が先頭に立ち、県内各LOMと連携を図り、新入会員候補者や拡大手法などを県単位で情報共有し、各LOMを支援する体制を構築します。

千葉県全体として33%拡大と20名以下LOMの40%拡大を推進し、同じ志をもつ多くの会員が県内各地域で目覚ましい活躍をすること、またJC空白地域の調査並びに新設LOM立ち上げを研究することにより、県内各地域に余す所なくJC運動が行き届くことを目指します。それは、我々のオピニオンリーダーとしての地域への姿勢や運動の理念が県内各地域に葉脈の如く伝播し、市民一人ひとりに浸透することで、市民の地域に対する意識をも変革することにつながります。

「連携推進とSDGsについて」

我々は同じ価値観のもと、各地域でその特性を活かしたJC運動を展開しています。各地域でのJC運動をよりインパクトあるものとするためにLOMとLOM、LOMと本会を強固に結びつける必要があります。また、千葉県が今以上に誰もが安心して暮らせる持続可能な地域社会であるために、各種団体や組織、企業とも協働し、市民の地域に対する当事者意識を醸成し、世界や地域社会の諸問題に積極的に取り組む必要があります。

まずは、国家単位での課題解決や魅力発信に対し、本会とLOMとの連絡調整機関として本会の運動や方針の理解と意識の共有を図り、本会の事業、運動に真摯に参画できる環境を整えます。そして、2019年4月の統一地方選挙において、千葉県は過去最低の投票率を更新し、政治離れが進んでいる状況の中で政治参画は他人事ではなく、自分たちの未来を創ることであることを認知してもらうために、主権者意識醸成事業の開催や各種討論会の実施、支援をします。また、2019年度、JC運動の主軸として展開したSDGsを各種団体や組織、企業とさらに連携を図り、生活の身近なレベルまで浸透するよう、市民一人ひとりのSDGsに対する意識を高める事業を展開します。

県内各LOMが国家、千葉県、市民との有機的なつながりにより、LOM単位で成しえる範囲を超えて、より高い次元でJC運動を展開することで、その経験や見識により得た新たな価値観のもと、各地域にさらなる新しいインパクトを与え、より多くのアクティブシチズンを創出します。

「ブロック大会について」

各市町村が今後も持続可能な地域として存在するために、我々は文化や地域特性の違いによる各地域の魅力と課題に対し広域的な視点から向き合い、解決に導く政策を打ち出すこと、魅力を今以上に県内に伝播することで、各地域をより輝かせることが必要であります。

まずは、千葉ブロック大会をメンバー、LOM、各地域が有機的につながり、互いの魅力と課題を共有し、千葉県というスケールメリットを最大限に活かすことで、我々の運動を千葉県民一人ひとりに強く発信できる場とします。そして、主管LOMとの緊密な協力体制と、県内各LOMとの有機的なつながりにより、主管LOM独自の魅力と県内各LOMの地域魅力を調和させることで、千葉県として新たな魅力を創出します。また、主管LOM地域の課題に対し、解決策を打ち出すことで、各地域においても同様の課題に取り組むことができるスキームを創出します。さらに、東京オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、スポーツによる地方創生の可能性について考えます。

我々は千葉ブロック大会を単一的で一過性の事業として捉えず、その年度ごとの主管地域にアクティブシチズンを創出するべく、JCの地域に対する想いを種として各地域にまき続け、それらが芽吹き、

各地域が自主自立した大きな花となり、持続可能な地域へと変貌を遂げるようなインパクトを各地域に残し、その地域の後世に残るような大会とすることで、ひいては千葉が持続可能な県として、将来もこの国に存在し続けることができます。そして、参加したすべての人々が自身の地域において、能動的に活動できる「地域愛」溢れるアクティブシチズンとなる千葉ブロック大会にします。

「安全保障について」

千葉県は三方海に囲まれ、各種自衛隊基地を配備しており、国際情勢の緊迫化への対応を考えると千葉県の安全保障について今一度検証する必要があります。

県民一人ひとりの安全保障の意識を今以上に高めるために、多面的な安全保障に関する国民的議論を巻き起こす事業を実施します。

県民の安全保障に関する知識を深め、より安全で安心した生活基盤が構築される強い千葉を創造することができます。

結びに

困難な壁に逃げずに立ち向かう、辛い道と楽な道があれば辛い道を選択する、私はJ Cでそれらを学び、失敗を恐れず何事にも挑戦する行動力を得ることができました。自分自身に困難を乗り越える機会を創出する「修練」と他者のために率先して行動する「奉仕」、同じ志を持つ仲間との「友情」、その3つを得られる青年会議所は40歳までの青年経済人にとって最高の場所であります。

これからの日本は劇的な変化を遂げ、多くの困難も待ち受けるかもしれません。しかし、その困難に我々J Cが立ち向かい、これからの未来がすべてに人にとって、笑顔溢れる生きがいがある未来であるために、今を懸命に創っていかねばなりません。

過去の自分と向き合い、今何をすべきなのか、これからの自分自身がどうありたいか、地域がどうあってほしいかを常にイメージし、J C運動を展開しましょう。そして、自らが地域を牽引していくという自立の精神と地域や仲間へ寄り添い、共に助け合う調和の精神をもって、J C運動を展開し、地域に力強いインパクトを残しましょう。

千葉県内すべての仲間のため、各地会員会議所のために私は何ができるのか、その最前線に身を置き誰よりも千葉を愛し仲間を愛し、英知と勇気と情熱をもって率先して行動をし、自立と調和の精神が織り成す、笑顔溢れる強い千葉を創造します。